

SUZUCHU VOL.5 NOW

2006

春

●発行日 2006年4月1日
 ●発行 鈴鹿中央総合病院
 ●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-5
 TEL 059-382-1311
 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
 ●編集協力 TCK名古屋

SUZUCHU NOW VOL.5 2006 春

●発行日 2006年4月1日 ●発行 鈴鹿中央総合病院

●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/ ●編集協力 TCK名古屋

道

…その先にあるもの
ま・き「ミニユニターミネオン」継続



院内 知っ得! 辞典

CP委員会 看護師長 酒井 ひろみ



患者さまと医療者の理解共有に向けて

病院では医師、看護師だけでなく薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、放射線技師、医療事務、理学療法士などの様々な職種がチームワークによって患者さまへの治療が行われています。あらゆる職種が効果的に治療に関わるように、病气ごとの治療計画を練り上げ、クリニカルパスを作成します。入院から退院

クリニカルパス委員会

クリニカルパスとは、医療チームが共同である種の疾患をもつ患者に対する医療(検査・治療・ケア・入院指導・食事等)の内容やタイミングを時間軸に沿ってスケジュール形式にまとめたもの。

までの治療・ケアの内容、ゴールが示されていることから、「わからない」「ことによる不安がなくなり、「安心感」が生じます。また患者さまにも目標を持って治療に取り組んで頂けます。そして患者さまと医療者が入院中のプロセスに対する理解を共有することが出来ます。

当院では平成10年にクリニカルパスを導入して現在45種類程のパスが使用されています。また年に一回院内でクリニカルパス大会を開催し研鑽しております。今後も質の高い医療を患者さまに提供できるよう、よりわかりやすく、使いやすいクリニカルパスの作成、改善を行っていきたいと思っています。

ご意見にお答えします!

Q 小児科に入院しました。が、もう少し小児メニューを取り入れてほしいです。長くいると食事が楽しみなのに、いつもがっかりです。

A 症状により制限もあると思いますが、医師、病棟病棟長に相談していただき、また管理栄養士と食事内容については話し合うことも可能です。小児食に対しては、常食の選択メニューにあわせて、サンドイッチめん類・唐揚げ等子供が好むきょうなメニューを取り入れることにいたしました。

こんなご意見も寄せられました。

この度は大変お世話に相成りました。術後の経過も良くて快適な日々でございます。鈴鹿中央総合病院の皆さま方のおかげと感謝の毎日でございます。選ばれた病院になる。私はあつく感じております。ありがとうございます。ございました。お元気になられて、スタッフ一同うれしく存じます。お褒めの言葉は職員への励みになり、元気にもなります。「選ばれた病院でありたい」を忘れず患者さまに接していきたいと考えています。

誌面でクッキング

花粉症の予防に効果のあるレシピ!

花粉症の予防はいろいろな食べ物でバランスよくとる食生活を心がけ、体に抵抗力をつけることです。とくに体調の維持に欠かせないビタミン、ミネラルは十分とりましょう。

●鮭の青しそマリネ

食事が不規則になり、栄養バランスが崩れると免疫機能に異常が起これ、アレルギーになりやすくなるのではと考えられています。免疫機能を正常に保つ成分であるDHAは鮭に多く含まれ、免疫機能を正常に保ち炎症を抑えてアレルギー症状を予防し改善します。また青じそにはγ-リノレン酸が含まれ、体内でEPA、DHAに変



管理栄養士 田島 陸美 (たしまつみ)



材料・作り方はホームページに掲載してあります。

TOP画面→ 患者さま→ NEWS&TOPICSの体にやさしいレシピでご覧いただけます。http://www.miekosei.or.jp/2_sch/

Salon de news

- 院内学会
- 第11回慰霊式
- 病院祭開催のお知らせ

からだの春夏秋冬

花粉症

院内【知っ得!辞典】

CP(クリニカルパス委員会)

誌面でクッキング

花粉症の予防に効果のあるレシピ!



SALON DE NEWS

鈴木ニュース

病院祭開催のお知らせ

5月21日(日)鈴鹿中央総合病院 院玄関ホール午前9時〜当日は、当院医師による特別講演、アトラクションとして白子高校ブラスバンドしのみ会による野菜市や、たこ焼き、焼きそばなどの模擬店、バザー、餅つき大会、健康、栄養相談など予定しております。皆さまお誘い合わせの



第11回慰霊式

鈴鹿中央総合病院解剖体慰霊式が2月22日午後3時から講義室において、病理解剖に協力してくださった方々のご遺族、関係職員などが出席し、しめやかに執り行われました。慰霊式は、浜田院長挨拶で始まり、出席者全員で黙祷後、病理解剖に協力くださった方々の御尊名を村田臨床病理科医長が拝誦しました。医師を代表して加藤副院長が協力下さった遺族への感謝、医療のために今後も研鑽を積む事を誓いました。

院内学会を行いました。

上ご来院下さい。尚、詳細はポスターホームページにて掲示いたします。

第10回院内学会を、2月22日午後4時30分より講義室で開催いたしました。プログラムは「一般演題が3題、各種委員会の活動報告が5委員会、シンポジウムは病棟再編成についてのテーマで、患者さま中心の入院病床の配置について、各職種から熱心な意見交換が行われました。恒例の院長賞は「一般演題から」当院における外来化学療法の実践」、また事務部長賞は活動報告から「CE部の私たちのやっていること」がそれぞれ表彰されました。

からだの春夏秋冬

「花粉症」

世間一般にはスギ花粉によるアレルギー性鼻炎、結膜炎、皮膚炎などの諸症状を「花粉症」と言います。今回はスギ花粉症のアレルギー性鼻炎の薬剤治療についてお話しします。

Q1 花粉症の抑制ポイントとは?

花粉が鼻粘膜に付着することが引き金になります。簡単に言えば、反応が生じます。簡単に言えば、炎症細胞が集まり、これからいろんな化学物質が放出され粘膜が腫れたり神経が刺激されくしゃみや鼻水が出たりします。そこで、①炎症細胞が集まってくることを抑制、②炎症細胞からの放出の抑制、③放出された化学物質(ヒスタミン等)のプロトククの3点がアレルギーを抑制する主なポイントになります。

Q2 市販薬と病院の薬はどう違いますか?

市販されているのは一般には昔からある抗ヒスタミン薬です。抗ヒスタミン作用だけで言うと決して病院の薬の方がよく効くとは限らず市販薬の方が効き目が鋭いこともあり、副作用のかわり眠気が出やすいという欠点があります。またトロンボキサンやロイコトリエン(ヒスタミン以外の化学物質)を抑制する薬は市販されていません。市販薬を使用して効果がありません。眠気も問題ないならば特に病院を受診する必要はないといえますが、1〜2ヶ月間という長期の薬の使用を考えると薬代もばかになりませんから医療機関で保険を使って治療を受けた方が経済的かと思えます。

Q3 抗アレルギー剤を使っているのに、抗ヒスタミン作用を有する薬剤では①前立腺肥大などの尿路が細くなる場合、②緑内障がある場合、③妊娠中④他の眠くなる薬(精神安定剤や抗めまい薬)と併用する場合などが挙げられます。

今回は薬剤治療に限って説明をしましたが、「口」に花粉症といっても患者さま一人ひとりの症状の出方、薬との相性など様々です。外科的治療などもありますので、症状に苦しんでいる方は一度耳鼻科で相談されることをお勧めします。

〈耳鼻咽喉科 藤田祐〉

前号で院長が語った「“Something new” 新しいことへの挑戦」に早くも、鈴鹿中央総合病院の職員達が動き出していた。今号では昨年から暖めてきた彼らのTQM活動と、この発表に至るまでのプロセスを紹介したい。



「Something newから生まれる。TQMを求めよう」

TQM(総合的品質管理)とは Total Quality Managementの略で全員・全体で医療の質を継続的に向上させるための活動である。もともとは産業界で製品の品質工程をマニュアル化し、高い精度で管理することから始まった。最近では医療現場でもTQMの考え方が浸透し、一定水準の医療が提供できる体制が整備されているが、ここ鈴鹿中央総合病院では、さらに上を目指した医療の質的向上を可能にするため、TQM活動を取り入れたのである。全国的にもTQM活動を行っている病院はまだまだ少ない。そんな中、これまで取り組んできた職種横断的な



チーム医療を更に進化させるために、昨年の7月から人材育成研究所立川義博氏指導のもとTQM活動研修を開始し、本年3月5日に第1回「TQM活動発表会」が開催された。「TQMがもたらした「意識」への効果

院内で最初にTQMを取り入れ実施したのは、池田看護部長率いる430名の看護職員である。三重県厚生連では県下7病院ある中で新しい取り組みのモデルケースは、鈴鹿中央総合病院の看護部からスタートし、着実に「道」を拓いてきた実績がある。活動をスタートした昨年7月、誰もが初めてのこととして試行錯誤を繰り返した。なかでも職場の業務改革に取り組むには多忙極まる現場での一歩一歩が大変であったという。しかし、その歩を進むにつれ着実な変化を職場の皆が感じとっていった。確かなこ

とは、看護部でスタートした改革が医師・コメディカル・医療スタッフ全員へ浸透していき自然と誰もが改革の旗をもち、意識し協力してくれたこと。気が付いたときには、全職員が業務改善への意識統一がなされていたという効果に当事者である看護職員が一番驚いたという。まさに「ま・き・コミュニケーション」である。

TQM活動発表会

16チームからなるグループが持ち時間7分という中で、それぞれが暖めてきたTQM活動をパワーポイントで発表したり、寸劇で見せたりと活動内容を時間内で簡潔に披露。超多忙な業務をこなしながらTQM活動のため、ここまで仕上げてきた半年以上の並々ならぬ努力が手に取るように伝わってきた。当日は三重県厚生連本部から常務理事、事業企画部長、管理部長、医療安全・研修責任者がかけつけ、審査や講評などにも参加。また各病院からもTQM活動を取り入れるための参考にと総勢173名が集まり、聴く者すべてを引きつける内容に参加者より盛大な拍手と賞賛をあげていた。結果は、最優秀賞に「天手古舞子(てんでこまいこ)OP室、優秀賞に「めざせナイチンゲール」4

階西と「メデイカル戦士(穿刺)」中央処置室、本部賞に「Imais Anger」3階東と「きれいな隊」3階西が選ばれた。後に参加者から回収したアンケート結果で多数の意見として際立っていたのは、「他職種の医療スタッフを巻き込むことは大変だが、みんなが協力的であることに今回の発表で再認識できた。また様々な改善がなされ多くの発見があった。」と正覚を得たことに、TQM活動は今後の鈴鹿中央総合病院の「医療」「業務」については「経営」の「質」向上に大きく貢献すると確信した。「高度、良質の医療を提供」するためのSomething newを踏み出したのである。



こちら 解説室

※1 ま・き・コミュニケーション

さまざまな人々を自然に巻き込みながらひとつの輪を大きくしていく様。人材育成研究所立川義博氏の造語。

道
ま・き・コミュニケーション
継続

HEADLINE

医療安全対策研修会開催!!

「当院における医療安全の現状と問題点(3年間を振り返って)」と題して、医療安全管理者村田哲也医師による講演、ビデオ等の研修会が全職員に対して行われました。

医療行為において、患者さまの治療看護の中で起こりうる事故の可能性をなくすため、常に「危機意識」を持ち、確認・再確認を徹底し、また医療事故(インシデント・アクシデント)の情報収集を行い、事故防止マニュアルを作成するなど最新情報を取り入れ具体的で実践的な教育を定期的に行い、医療事故を未然に防ぐ努力をしています。



医療安全対策研修会模様

研修会のお知らせ

鈴鹿地域医療支援勉強会

日時・場所 平成18年 4月13日(木曜日)
●18:30~20:30 ●鈴鹿中央総合病院/2階講義室

症例検討 「腓頭部腫瘍の1例」

演者：放射線科/明星 匡郎医師

演題

「プライマリケアで診る
泌尿器科疾患初期診断治療のポイント
(紹介のタイミング、薬剤の選択・
注意点など)」

演者：泌尿器科/荒木 富雄医師

先月の様子



松原看護師講演より
「床ずれ(予防から治療まで)」



症例検討会
「早期胃癌の1例」

BCT

日時・場所 平成18年 4月12日(水曜日)
●7:00~8:00 ●鈴鹿中央総合病院/2階講義室

演題 「心不全治療」

演者：内科/宮原 眞敏医師

医療機関さまへ

産婦人科より

妊婦検診は予約制となっております。
詳しくは産婦人科外来
TEL 059-384-1024まで

神経内科休診のお知らせ

平成18年5月11日(木)12(金)
学会出席の為休診とさせていただきますので、ご了承下さい。

新任
紹介

4月より赴任医師の紹介です。

プロフィールについては5月号でお知らせします。
(外来診療日は別紙外来診療担当表でご確認下さい。)

泌尿器科医長

荒木 富雄
(あらかみ とみお)

脳神経外科医

川口 健司
(かわぐち けんじ)

脳神経外科医

長谷川 浩一
(はせがわ こういち)

消化器内視鏡 HOT LINE 微小早期がんを見逃さないために

前回までのお話で、検査の利点や有用性について理解することができたかと思います。今回は実際に私たちが内視鏡検査をどのように行っているかをお話します。

内視鏡検査とは、カメラつきの管を腸管に入れて異常を見つける検査です。咽頭・喉頭・声帯・食道・胃・十二指腸(上部)・小腸の一部・大腸・直腸・肛門(下部)までを観察することができます。観察しにくい胃の内腔面背側や大腸内側のヒダ裏などは、病変が隠れていることがあるので、特に注意して観察します。そして異常を見つけたら、同時にそれが何かを診断していきます。例えば消化性潰瘍であれば「炎症の程度・出血の可能性・深さ」などを判断しますし、癌であれば「広がり・進行度合い・治療法」などを判断します。また、そのときに必要であれば、特殊な内視鏡(拡大・超音波)を用いてさらに検討します。

検査の際、私たちは微小早期癌(5mm程度の癌)を見逃すまいと、いつも注意を払っています。なぜならそれは、最も患者さんの負担の少ない内視鏡治療で確実に癌を取り除くことができるからです。それには些細な異常に気付く目を内視鏡医は持たなければなりません。微小早期癌は、病変自体が常にカメラに写るわけではなく、数mmの僅かな色

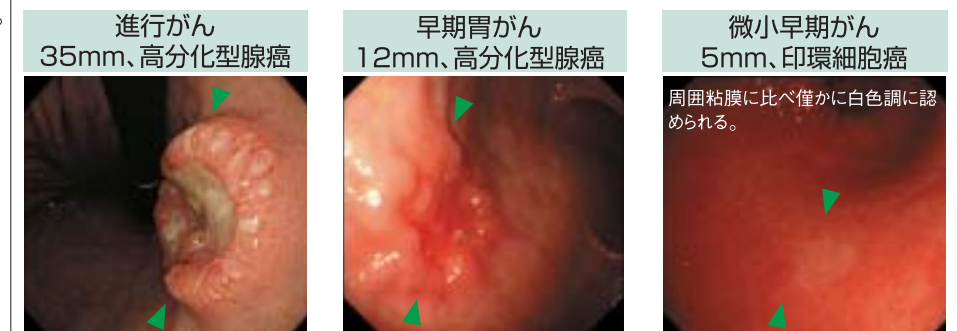
の変化、粘膜の下を走る血管の走行異常、腸管粘膜の表面の細かい溝の異常などに隠れているからです。私たちにとっても、このような異常に気付き、微小早期癌を見つけたときは、患者さんの癌を確実に治すことができると実感できる時でもあります。

このように見つけれられた病変は、週1回、専門の医師たちと診断に矛盾がないかを検討します。これは、診断の精度を高めるとともに、私たちにとっても症例経験を増やし、診断の道筋を学ぶ勉強の場でもあります。その結果、さらに多くの微小早期癌を見つけることができると考えています。(実際に当院では、昨年後半だけでも全国平均を上回る早期胃癌数と約10例もの微小早期胃癌が見つかりました。)そして内視鏡医みんなで納得した診断がなされ、治療方針が決められていき

ます。患者さんにとっては、苦しく辛い検査になることもあるかもしれませんが、その一人ひとりの検査が内視鏡診断学の進歩にも寄与していることを理解して頂けたら幸いです。

今後の消化管検診は、内視鏡検査が主流となっていくでしょう。間接的に腸管の粘膜を観察する透視検査などでは僅かな色の变化や血管走行異常を確認することは不可能であるため、このような微小早期癌は内視鏡検査以外では見つけることはできないからです。まずは癌を作らない様な生活を心がけることが大切です。しかし、現代の環境では誰もが癌になる可能性はあるでしょう。癌を早期に発見し、患者さんに負担なく治療できるように、私たちも日々研鑽を重ねています。

中央検査科 馬場洋一郎



各種サービスをご活用ください

母親教室

●前期(妊娠4~5ヶ月) ●毎月1回/4月17日・5月15日・6月19日
●後期(妊娠8ヶ月の終わり) ●毎月1回/4月24日・5月22日・6月26日
●場所:どちらも2階講義室 午後1時より3時まで

乳房マッサージについても受け付けております。
※詳しくは産婦人科外来
TEL 059-384-1024まで

外来のご案内

◆診療受付時間/午前8:30~11:30

※再来受付機のご利用は
午前7:30~11:30まで

◆休診日/土曜・日曜・祝日

年末年始(12月30日~1月3日)
※救急の場合は休診日や診療時間帯に関わらず対応いたします。

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、保険証とあわせて新患受付にお出ください。

※保険証に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

◆患者さまへのご案内

●診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。
●毎月1回、保険証の確認を行っております。

2ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。
●受診の際、お車でお越しの方は駐車整理券を会計後お出しいただき、駐車料金無料の磁気処理をお受けください。

◆紹介状をお持ちの方

●紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。また、紹介状をお持ちいただきますと、診察時間を優先させていただきます。

医事課よりお知らせ

診療報酬の改定は薬価等の改正とあわせておおむね2年に1度行われています。個々の診療報酬の単価は物価などの動向に応じ定期的に水準が見直されています。平成18年4月より改定に伴い患者さまの一部負担金にも影響が出る場合があります。御座いましたら医事課までお問い合わせ下さい。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれた病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊重重視と、公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と、患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示と、セカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

地域医療支援病院 ●三重厚生連

鈴鹿中央総合病院

TEL (059) 382-1311

SUZUCHU 外来診療担当表

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診 新患	濱田正行(循)	山本伸仁(呼)	澤井俊樹(循)	宮原眞敏(循)	北井珠樹(循)
	2診 新患	向 克己(消)	川上恵基(血)	渡辺泰行(血・免)	高木幹郎(腎)	岡野 宏(消・肝)
	3診	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	山本伸仁(呼)	西村 晃(肝)
	4診	岡野 宏(消・肝)	渡辺泰行(血・免)	北井珠樹(循)	市川和秀(循)	澤井俊樹(循)
	5診	山本伸仁(呼)	向 克己(消)	川上恵基(血・免)	濱田正行(循)	高木幹郎(腎)
	7診	宮原眞敏(循)	佐瀬友博(消)	市川和秀(循)	齊藤知規(消)	宮原眞敏(循)
	8診	市川和秀(循)	加藤正美(消)	加藤正美(消)	川上恵基(血・免)	加藤正美(消)
	9診	北井珠樹(循)	藤本 源(呼) 午後のみ診察		石川英二(腎)	小林裕康(呼)
	10診	北野滋久(腫瘍)				
	眼科	1診	有馬美香	有馬美香	大学医	有馬美香
2診		坂倉美佐	坂倉美佐		坂倉美佐	坂倉美佐
午後		手術	予約検査	予約検査	手術	予約検査
1診		新藤啓司	西 英明	西 英明	西 英明	藪 泰宣
2診		神谷敏也	新藤啓司	神谷敏也	新藤啓司	神谷敏也
小児科	※月・金の1診は11時開始					
	1診 予約再来	角田貴継	新患のみ	藤田祐一	藤田祐一	角田貴継
耳鼻咽喉科	2診	藤田祐一		角田貴継	角田貴継	藤田祐一
	午後		手術	手術	PM予約検査	手術
	1診		水野幸太郎	深井一郎		深井一郎
呼吸器外科	1診					
心臓血管外科					大学医	
外科	1診	飯田俊雄	田岡大樹	金児博司	三井貴子	今井俊積
	2診	今井俊積	今井俊積	初診のみ	飯田俊雄	田岡大樹
	3診	金児博司	三井貴子	担当医	担当医	三井貴子
整形外科	1診	佐藤憲史	高橋明子	高橋明子	佐藤憲史	奥山典孝
	2診	山田浩之	奥山典孝	稲田 均	稲田 均	稲田 均
	3診	奥山典孝	山田浩之	佐藤憲史	山田浩之	高橋明子
		PM手術	PMギブス	手術	手術	検査
脳神経外科	1診	川口健司	初診紹介のみ	森川篤憲	川口健司	森川篤憲
	2診	林 真人		長谷川浩一	長谷川浩一	林 真人
		脳ドック結果説明	手術	脳ドック結果説明	手術	脳ドック結果説明
神経内科	1診	賀川 賢(初診)		賀川 賢(初診)		賀川 賢
	2診	真鈴川 聡	真鈴川 聡(初診)	真鈴川 聡	紹介患者様のみ	真鈴川 聡(初診)
皮膚科	1診	野内伸浩	大学医	野内伸浩	野内伸浩	野内伸浩
	2診	大学医(初診)				
	午後	手術			手術	
産婦人科	1診一般初診	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二
	2診(妊婦)	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦
泌尿器科	1診(新患)	荒木富雄	荒木富雄	担当医	坂田裕子	鈴木竜一
	2診 予約再来	坂田裕子	坂田裕子		鈴木竜一	荒木富雄
精神科	1診	完全予約初診のみ			完全予約初診のみ	
麻酔科	1診	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇
放射線診療	1診	大学医(午後)		大学医(午前)		大学医(午前)
健診センター		金丸・川原田	西村・川原田	金丸・川原田	西村・川原田	1・3 金丸・西村 2・4 金丸・川原田

(18年4月1日現在)

特殊外来

内科

循環器外来	月・水・木・金曜日
消化器外来	月・火・水・木・金曜日
呼吸器外来	火・金曜日
肝臓外来	月・火・水・金曜日
血液・免疫外来	火・水・木曜日
腎臓外来	木・金曜日

眼科

レーザー治療	火・水・金曜日 午後 要予約
斜視・弱視外来	火・水・金曜日 午後 要予約

小児科

乳児健診	水・金曜日 午後
予防接種	火曜日 午後 (BCG火曜日午後)
慢性疾患外来	水曜日 午後

耳鼻咽喉科

補聴器外来	第2・4水曜日
予約検査	木曜日 午後 14:00~16:00

外科

ストーマ外来	木曜日 14:00~(予約制)
乳腺外来	月曜日 14:00~(予約制)

整形外科

リウマチ科	水・金曜日
肩関節外来	第1,3週金曜日 14:00~16:00(予約制)

産婦人科

母乳外来	火・木・金曜日 午後 予約制
助産師外来	月~金曜日 予約制

麻酔科

ペインクリニック	月~金曜日
----------	-------

放射線診療

CT・MRI・RI・放射線治療	要予約
-----------------	-----

健診センター「オリーブ」

人間ドック	月・火・水・木・金曜日 (予約制)
脳ドック	月・火・水・木・金曜日 (予約制)
肺がんドック	月・火・水・木・金曜日 (予約制)
*健診センターにて受付致します。	

裏面の
外来のご案内を
ご覧ください

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎回5機関ずつ
紹介してまいります。

別府内科クリニック



医師名
別府 恒

- ◆診療科
- 内科●胃腸科●循環器科
- 小児科
- ◆特色

往診可

- 休診日
- 日曜・祝祭日 木曜午後
- 診療受付時間
- 9:00~12:00 15:00~18:30
- 所在地
- 〒510-0241 鈴鹿市東磯山町3-19-25
- 電話 059-386-1117
- fax 059-386-1117

清瀬心身クリニック



医師名
清瀬 豪久

- ◆診療科
- 神経科●心療内科●精神科
- ◆特色

近年非常に複雑な社会となり、ストレスに関する心身の異常を感じる人々が増加しております。また思春期、更年期、老年期など、人生の節目に心身の変調を自覚する人々が増えております。そういった方々に役立つ医療を行っていききたいと思っておりますのでお気軽にご来院ください。

往診可

- 休診日
- 日曜・祝祭日 木曜日
- 診療受付時間
- 9:00~12:00 15:00~18:30
(土曜15:00~17:00)
- 所在地
- 〒510-0212 鈴鹿市南江島町9-5
- 電話 059-368-1000
- fax 059-368-1001

嶋内科



医師名
嶋 久子

- ◆診療科
- 内科●皮膚科●小児科
- ◆特色

美容皮膚科を新設致しました。ご相談ください。最新の医療機器と技術を駆使して治療いたします。

http://www13.ocn.ne.jp/~shima-cl/

往診可

- 休診日
- 日曜・祝祭日 木曜午後
- 診療時間
- 8:30~12:00 15:00~18:30
(木曜8:30~12:00土曜15:00~17:00)
- 所在地
- 〒510-0212 鈴鹿市柳町637
- 電話 059-382-1504
- fax 059-383-5733

松岡ハートクリニック



医師名
松岡 正紀

- ◆診療科
- 内科●外科●循環器科
- 呼吸器科●消化器科
- リハビリテーション科
- ◆特色

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

往診可

http://www.mecha.ne.jp/~clinic
e-mail matsuoaka@mecha.ne.jp

- 休診日
- 日曜・祝祭日 木曜午後 土曜午後
- 診療時間
- 9:00~12:00 15:00~18:30
(木曜 土曜 8:30~13:00)
- 所在地
- 〒510-0202 鈴鹿市若松北2-3-1
- 電話 059-385-1056
- fax 059-385-1073

湯浅整形外科



医師名
湯浅 美仁

- ◆診療科
- 整形外科●リウマチ科
- リハビリテーション科
- ◆特色

往診可

- 休診日
- 日曜・祝祭日 木曜午後 土曜午後
- 診療時間
- 8:30~12:00 15:00~18:30
- 所在地
- 〒510-0256 鈴鹿市神戸1-2-18
- 電話 059-383-1338
- fax 059-383-1783

新血管撮影装置 (IVR-CT) を導入しました。

本年2月から、より一層の充実をはかる為、**県下初の組み合わせによる最新機器を導入しました。**

このシステムは最先端血管撮影装置 (FPD搭載) と4列マルチCT装置を同室内に設置する事で患者さまが移動する事なく使用する (IVR-CT) 事が可能なシステムとなっております。装置の特長は鮮明な画像、被爆量の軽減、診断用解析ソフトの充実と共にMDCT装置との組み合わせによる、病巣部への確実なアプローチ、術中に迅速に効果判定が可能であるなど、今までより一層患者さまのための診断・治療をおこなう事ができ、病苦の癒しのお役に立てると確信いたしております。現代医療において画像診断は、なくてはならない領域であり診断機器及び使用材料など目を見張る程の速さで進歩しています。しかし、患者さまの立場から医療を考えると、検査機器・技術が発達した事により病気を早期発見し、最善の治療を行ない、病苦を癒すことが医療の真の価値と期待するものと思います。



透視装置

患者さまへの負担軽減が大切です。

現在では、治療の方法論として薬剤療法、手術療法、放射線療法、理学療法、精神療法、代替療法などがあげられ各々の分野において、ハイテク技術が導入されその効果が発揮され、

結果として平均寿命などに表れています。手術と言えば今までは、外科的手術が主として行われ体表を大きく切開し病変を見ながら外科医の眼で確認し、手術が施行されていましたが、ハイテク機器・技術の発達により他の正常部分には触れず病変部だけを治療し、人体に与える悪影響をできるだけ少なくして副作用も減らし、患者さまの手術への負担を減らす方向に進んでいます。特に、内視鏡手術と共に画像監視下による治療法も盛んに取り入れられるようになってきているのです。



4列マルチCT

IVR (interventional radiology) X線透視下治療法

この1つとしてIVR (Interventional radiology) と称されるX線透視下治療法であります。特によく行われている心臓の血管 (冠状動脈)、脳の血管、腹部の血管などX線透視下で観察しながらカテーテルと称される非常に細い管を血管内に挿入し、狭くなった血管部 (狭窄部) を小さな風船 (バルーン) でふくらまし元の太さに戻す・硬化した部分を削り取る・ステントと呼ばれる管を挿入し細くなった血管の血液の流れを元に戻す・動脈瘤など破裂の可能性のある部分を詰めてふさがり破裂



予防を行う・病巣の1部分の血流を止め病気の広がりを防ぐ・病巣部近辺に直接薬剤を投与するなどの治療手技が数多く行われています。



実際のモニター画像



※当院では以上の手技によって、年間約1,300件の血管撮影・治療を行っております。

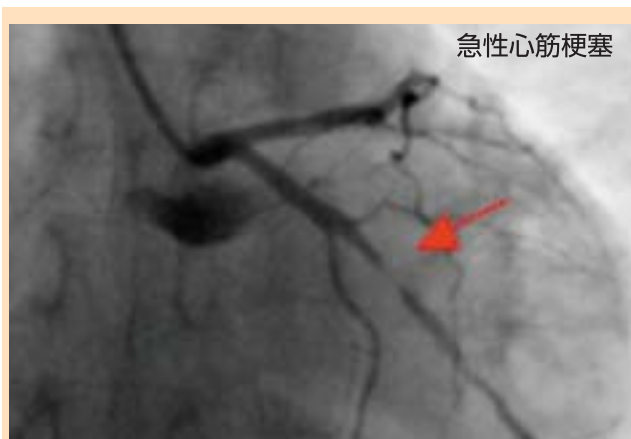
【設置装置】

血管装置	Philips Allura Xper FD20
IVR-CT装置	日立自走式MDCT ROBUSTO
情報統合システム	東芝Cardio Agent
LASER IMAGER	エニカ/タカDRYPRO 793

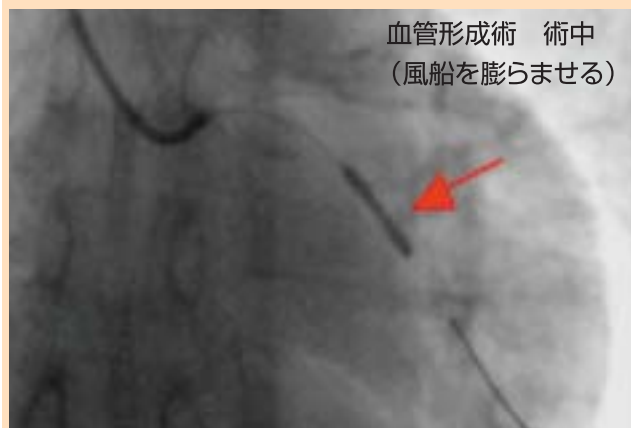
驚異の診断画像と IVRの威力。



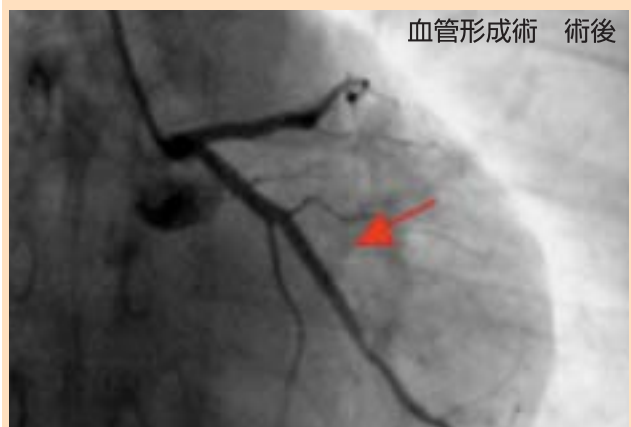
当院の最先端血管撮影装置 (FPD搭載) と
4列マルチCT装置での撮像。



心血管 (左冠状動脈)



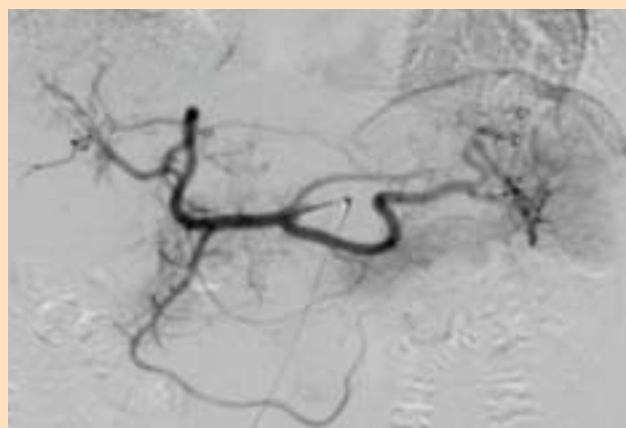
肝動脈



脳血管



脳血管 (左総頸動脈からの造影)



腹部血管 (腹腔動脈からの造影)



腹部血管 (腹部大動脈からの造影)